

川崎市内の土壤中の放射性物質の測定結果について（令和2年度冬季）

本市では、「川崎市東日本大震災に伴う放射性物質に関する安全対策指針」に基づき、東京電力福島第一原発事故に由来する放射性物質による環境への影響を把握し、経年的な濃度推移を評価するため、市内の土壤3地点での放射性セシウム（セシウム134、セシウム137）濃度を年2回継続的に測定しております。今回、土壤中の放射性セシウム濃度は25～134Bq/kgの範囲で検出されましたが、参考となる放射性物質汚染対処特措法の指定廃棄物の指定基準である8,000 Bq/kgを大きく下回っています。

なお、平成28年度までは河川水12地点（多摩川2地点含む）、海水3地点、地下水3地点において放射性セシウム濃度を年2回継続的に測定していましたが、平成24年度の調査開始から不検出が続いていたため、平成29年度からは測定を休止しております。

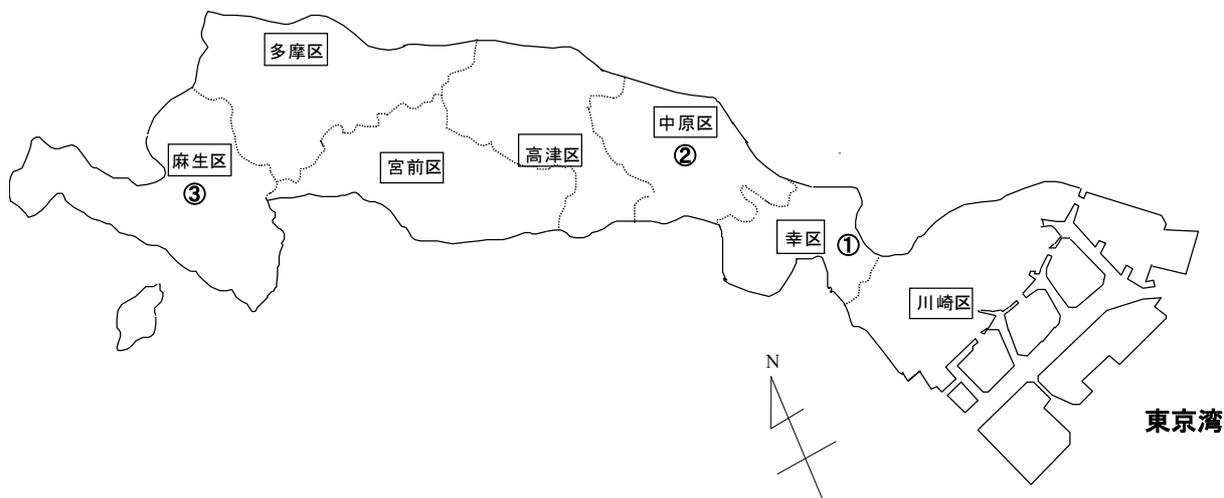
1 土壤中の放射性セシウム濃度調査結果

	番号	採取地点	採取日	深度 (cm)	セシウム134 (Bq/kg)	セシウム137 (Bq/kg)	合計 (Bq/kg)
土 壌	①	幸スポーツセンター	令和3年2月18日	0～5	不検出*	59	59
	②	中原区役所中庭			不検出*	134	134
	③	麻生区役所中庭			不検出*	25	25

※検出限界値：6.13Bq/kg

2 測定地点

数字は、表の中の測定地点



3 採取日

令和3年2月18日

4 分析日

令和3年3月23日

5 測定方法

土壤：NaIシンチレーション検出器を用いた核種分析